泉大津市社会教育委員会議

■第１回会議の議事概要

日　　時：令和３年６月１１日（金）
場　　所：新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議
出　　席：車谷委員、木野委員、岡崎委員、井上委員、冨山委員、藤原委員、祐仙委員
公開の有無：書面審議のため公開不可

議 事
１．令和３年度第１回社会教育委員会議の書面決議について
２．議長・副議長の選出について
３．社会教育関係団体補助金について
報 告
１．社会教育委員会議等令和２年度実施報告について
２．社会教育委員会議等令和３年度実施予定について
３．社会教育事業の概要について
４．社会教育事業の予算について
５．泉大津市教育振興基本計画（後半期）について
６．新図書館整備事業の進捗状況について
７．社会教育施設再編計画の進捗状況について
８．史跡池上曽根遺跡保存活用計画について
９．その他
・教育委員会（生涯学習課・スポーツ青少年課）職員配置表について
・新型コロナウイルス感染拡大防止による社会教育施設等臨時休館状況について

議事等概要

議事１．令和３年度第１回社会教育委員会議の書面決議について
■賛成７　反対０
議事２．議長・副議長の選出について
■社会教育委員会議規則第2条の規定に基づき、社会教育委員互選の結果、議長に車谷委員、副議長に木野委員が選出された。
議事３．社会教育関係団体補助金について
■意見なし７　意見あり０

報告１．社会教育委員会議等令和２年度実施報告について
■意見まとめ
・コロナ禍での中止はやむを得ないが、第２回、３回の社会教育委員会議は、ZOOM　かLINEで会議開催ができれば良かった。

報告２．社会教育委員会議等令和３年度実施予定について

■意見まとめ

・昨年度から書面審議だけなので、一度でも社会教育委員会議の開催を望む。

・令和３年度は新図書館の開館という大切な事案もあり、状況が許せば社会教育委員会議の開催を望む。

報告３．社会教育事業の概要について

■意見まとめ

・令和５年から休日の部活動が地域へと段階的に移行実施され、その後は平日にも拡大される予定であるため、地域運動部活動推進事業に期待する。

・指導者人材バンク制度の創設は重要である。

・スポーツ振興係の領域である「地域運動部活動推進事業」については、スポーツコミッション設立検討事業からの引き続きの課題であり、今後の進め方などについてこれから確認し、連携を取りながら引き続き泉大津市の地域課題の解決に向けて取り組んでいきたい

・将来の様々な文化活動振興において、活動施設の不足や老朽化に不安を感じる。

・放課後子ども教室や各小学校図書室の開放が３校に増え、この先さらに増えることに期待する。

・新図書館の進捗について、フェイスブックでこまめに広報していることに共感する。

・織編館や弥生学習館の活動の一層の充実を望む。

■環境体験学習事業について（補足）

・スケジュール

6月17日・25日	学生に対する説明会
7月1日	キックオフ集会（当初参加学生数１２名、募集継続）
８～９月	ロケ取材
11～１２月	編集
1月	完成予定

報告４．社会教育事業の予算について

■意見まとめ

・コロナ禍での事業の予測は難しい中、今年度の事業予定・予算の算定が大変だと思うが、事業の予想具合が見えて興味深い。

・泉大津市の博物館事業を一層高められるよう予算の配分を望む。

■質問

・ＳＤＧｓ推進事業とは何ですか？

→環境をはじめとするＳＤＧｓの推進に向けたテーマを設定し、図書館で講座を実施する。

報告５．泉大津市教育振興基本計画（後半期）について

■意見まとめ

・コロナ禍のもと、外出を控えたり身体を動かす機会が少なくなり元気に生活するには運動することが大切であると実感した。スポーツにかかわる人をひとりでも多く増やしたい。
・スポーツ施設の指定管理者と地域の団体や学校が今以上に連携・協働を強めることが大切。
・ＧＩＧＡスクール構想はコロナ以前から進められていましたが、突然コロナ状況下に入ってしまい、その重要さをさらに感じる。加速した推進が大切になる。
・博物館は生涯学習施設であり、学校だけでは学べない様々な探求する心を養える施設である。また、文化財の面においても地域資源として国の政策でも重要視されている。池上曽根遺跡だけでなく、他の文化財も含めてより教育の面でも活用することを望む

■質問

・子どもたちの健やかな身体の育成という視点では、中学校の運動部で複数校合同部活動の取り組みによる複数校合同部活動の取り組みなどがあるが、これはどこかに位置づくのか。
→今年実施する中学校運動部合同ゆる部活動については、現在部活動に加入していない生徒にも楽しく体を動かす習慣形成に向けた動機づけを行うことで、生涯に渡っての豊かなスポーツライフを実現するきっかけとなることを期待しており、重点事業１４番、「市民のスポーツ活動推進」やご指摘の基本的な方向性２「豊かな心と健やかな身体の育成」に寄与するものと考える。
・これで確定なのか。
→令和2年度に中間見直しを行い、確定している。

報告６．新図書館整備事業の進捗状況について

■意見まとめ

・会議室の使用料金については、他市の状況や近隣の民間施設の状況や地価などを勘案し、受益者にも納得して負担してもらえる金額が望ましい。また、社会状況に合わせて、使用料金の見直しを定期的に行うべきである。
・新図書館シープラの9月オープンにより、駅前の人の流れや市民の読書量がどのように変化するか楽しみ。
・図書館のオープンが初期予定より2か月ずれたのは、待ちわびている市民にとって大変残念だが、工事等の状況をフェイスブックで随時公開していて、市民に寄り添った素敵な措置だ。
・新図書館がオープンしてから具体的な課題も見えてくるかと思う。
・愛称、ロゴが市民の普段の会話の中に出現することを楽しみにしていきたい。

■質問

・市民から意見のあった自転車置き場（有料）についてどうなったか。
→周辺のアルザ駐輪場（2時間無料）をご利用いただく。ただし、中学生以下と障がい者手帳をお持ちの方については、別途無料駐輪場あり。

報告７．社会教育施設再編計画の進捗状況について

■意見まとめ

・社会教育施設について、今の施設は老朽化が著しく、一定の目的をすでに達しているため、廃止、複合化、大規模改修などさまざまな検討をするべきである。

・現状の施設について、旧市民会館程の音響・舞台レベルの施設があればと切に思う。

・市民の意見をどう取り込んでいくかについて、利用者の意見は、現在施設を利用している団体全員にアンケートの提出を依頼してはどうか。また、利用していない人については、広報にアンケートを載せて回答者に例えばおづみんグッズ等の景品をつけてはどうか。

・他市の先進的な取り組みについては、財政を考えると単純な比較は難しいと考える。

・公民館と学校施設を統合して、地域共同利用施設のようなものを目指すということなのか。公民館ではスポーツ施設として役割（卓球など）を果たしている側面もあるかと思う。小学校施設の効率的な活用につながれば良いし、その施設をマネジメントするために、地域住民の主体的な組織を作っていくというような、ソフト事業と並行して取り組む視点も必要ではないか。

・図書館は新しくなり注目を浴びているが、博物館機能は縮小（織編館）されていっているので、資料（有形、無形とも）を通しての学びを入れた施設整備をお願いしたい。

■質問

・以前あった小中一貫校化はなくなったということか？

→小津中学校区では、校舎を1つにする「施設一体型」ではなく、今まで通りそれぞれの学校で共通の目標に基づいた教育カリキュラムを展開する「施設分離型」の小中一貫教育を行っている。

報告８．史跡池上曽根遺跡保存活用計画について

■意見まとめ

・池上曽根遺跡の広報をもっとするべきである。

・弥生学習館については、市内の小中学生にも来てもらうべきである。

・とても大切な史跡、有効な改修活用に期待する。

・2026年史跡指定50周年で何か手伝うことがあれば、一市民として楽しみにしている。

・文化財の政策が大きく変わる中で、様々な機関との連携が必要（特に外部）。その中で弥生文化博物館とのより有機的な連携はできないか。学習館は学習館、弥生文化博物館は弥生文化博物館という感じに見える。